

宮崎大学医学部附属病院 呼吸器内科 専門医養成プログラム

1. プログラムの概略・特徴

本プログラムは第3内科呼吸器グループが担当し、一般内科に加えて呼吸器内科医師の養成に必要な専門的臨床研修が可能です。当グループでは、日本呼吸器学会指導医1名と同学会専門医5名により、日本呼吸器学会の規定に従った研修指導を行っております。当科の臨床教育では、最新のEBMに基づいた診療の意思決定過程が習得できるように計画しております。研究面では、がん抑制遺伝子の機能解析のような基礎的研究から、生理活性ペプチドの臨床応用を目指した創薬型臨床試験など、臨床と基礎を結びつけるトランスレーショナルリサーチ、臨床疫学を基にした実践的医療研究まで、非常に幅広い研究領域を経験できます。以上の臨床や研究の経験から、幅広い知識と論理的な思考力を身につけることが可能であり、常にリサーチマインドを有した質の高い「臨床家」＝「臨床医師研究者、Clinical investigator」の養成を目指しています。

当教室は各個人の希望に即したキャリア支援を行っており、医師としての将来設計サポートも惜しみません。呼吸器内科グループは、内科学講座神経呼吸内分泌代謝学分野（第3内科）の一部門でもあるため、呼吸器内科医師の養成のみならず、一般内科に必要な、神経内科や代謝・内分泌疾患についての臨床や研究の経験をすることも可能です。また、各種講習・研修会への参加を推奨しており、さらには、過去に国立がんセンターや京都大学等への国内留学も行っており、留学もコース途中で可能です。

2. 研修目標

【一般目標】

良質な呼吸器専門医になるために、呼吸器診療・研究に必要な知識を広く理解し、常に学ぶ姿勢を身につけ、自分の言葉で発表する能力を習得する。

【行動目標】

- 1) 医師として内科全般の基本的知識と手技を身につける。
- 2) 患者や家族あるいはパラメディカルとの円滑かつ適切なコミュニケーション能力を身につける。
- 3) 呼吸器疾患に対する専門的知識を身につけ、正確な診断、適切な治療法を選択する能力を修得する。
- 4) 呼吸器疾患診断に必要な気管支鏡検査を術者として観察、BAL、TBLBまでに行うことができる。
- 5) 他診療科からのコンサルテーションに対応し、問題解決できる能力を身につける。
- 6) 初期臨床研修医を指導する能力を身につける。
- 7) 臨床研究あるいは基礎的研究を行い、学会発表や論文にする能力を修得する。
- 8) いつも謙虚な姿勢で診療にあたることができる。

3. 研修スケジュール

卒後3年目は第3内科の医員として入局していただき、卒後3年目は内科医とし必要な内科全般の研修経験の獲得のため、第3内科の呼吸器グループ以外の診療グループの患者も担当します。卒後4年目以後は、各人の希望に合わせて大学病院あるいは関連病院での研修を行います。また、国内外への留学も可能な限り対応いたします。研究志望、学位取得希望あれば卒後4年目以後に大学院進学を勧めております。

専門医取得後のキャリア支援も十分に行います。

図. キャリアパスのコース例 ※卒後4年目には最低限、認定内科医は取得します。

	認定施設中心コース (専門医取得最短)	救急・市中病院経験 コース	大学院・基礎研究 コース	大学院・臨床研究 コース
卒後3年目	内科全般を大学附属病院で研修			
卒後4~5年目	認定内科医を取得			
	大学病院または 各関連施設で研修 (各施設1~2年)	左記または 関連病院にて救急および 一般内科中心の研修 (計1~2年)	左記または 大学院 ※基礎研究での学位取得 を目指します	左記 ※臨床研究での学位取得を 目指します ※大学病院、関連施設で臨床 研修を行いながら、大学院 入学も可能
卒後5~6年目以後	上記	上記	大学院	
呼吸器専門医取得	卒後7年目	卒後8年目	卒後7年目、学位取得	卒後7年目、学位取得

4. 評価 日本内科学会認定内科医、日本呼吸器学会呼吸器専門医の取得を最低限の目標とする。

5. 募集人員 5名

6. 実施責任者 宮崎大学医学部 内科学講座 神経呼吸内分泌代謝学分野 教授 中里雅光

7. 指導責任者 宮崎大学医学部 内科学講座 神経呼吸内分泌代謝学分野 助教 松元信弘

8. 関連施設、学会認定状況 当施設と関連施設の各学会からの認定状況です。

※認定施設以外の関連病院でも 内科・呼吸器内科の診療を豊富 に経験できます。	内科学会		日本呼吸器学会 認定施設	日本呼吸器 内視鏡学会 認定施設	日本感染症 学会認定研 修施設
	認定教育 施設	教育関連 病院			
宮崎大学医学部附属病院	○		○	○	○
国立病院機構宮崎東病院		○	○		○
宮崎県立日南病院				○	

9. その他:待遇、告知 等について

待遇等：附属病院勤務の場合は医員待遇となりますが、外勤があり、経済的生活は十分に保証されます。

また、学会発表のため、国内外学会への出席についても旅費について教室からの支援があります。

告知：Facebook ページもありますので参考に（「宮崎大学医学部呼吸器内科グループ」で検索を）

10. 連絡先

宮崎大学医学部内科学講座神経呼吸内分泌代謝学分野（第3内科）

TEL：0985-85-2965 FAX：0985-85-1869

呼吸器グループ 松元 信弘：nobuhiro@med.miyazaki-u.ac.jp

山口 秀樹：yamahide@med.miyazaki-u.ac.jp